



主な展示製品

- MRI室用生体情報モニタ「DENALI6168μ」
- 非磁性体スタンド「NMM-STD」
- 医療用放射体温計「CISE」
- ハルスオキシメーター「LUKLA2800」「PumoRi7165」

テーマ 麻酔下や小児対象のMRI撮影に安心と安全を

同社が開発したMRI室用生体情報モニタ「DENALI6168μ」を中心に展示。ブースでは同システムのイラストを大きく使用することにより、臨床現場における活用シーンをイメージさせていた。

MRI室用生体情報モニタ 「DENALI6168μ」

新生児や麻酔下患者など、MRI撮影時の生体情報管理を要する被検者をモニタリングするMRI室用生体モニタ。同装置は初の国産製品であり、本年6月以降に発売予定。被検者の指先に取り付けられたクリップ式光ファイバースコープから得る生体情報（SpO2やNIBP）をタッチパネル式の小型ディスプレイに表示し、検査中の安全性を監視する。SpO2のトレンドグラフや脈波の表示、灌流インジケータ等の情報を、大きな文字でディスプレイに表示。また、画面右上にはエラーメッセージが表示される。本体にBluetoothを内蔵しているため、検査室にある同機能内蔵のPCやタブレットとの連携により、データをリアルタイムに取得できる。本体は1705gの軽量設計で、充電電池使用の場合、フル充電で4時間連続使用が可能である。

また、本体には2種類のメモリ機能を標準搭載。本体メモリでは画面上で5分間の測定データの再生が可能であり、本体左側のUSBポートにUSBメモリを挿しておくことで容量分のデータを同メモリに記録できる。



DENALI6168μ



光ファイバースコープ

医療用放射体温計 「CISE」

人間の額から放射される赤外線エネルギーを体温に換算して計測する非接触の医療用体温計。測定時間はわずか1秒ゆえ、瞬時に患者の体温が測定できる。耳式や腋下体温計のような測定誤差はなく、標準偏差は±0.2°C。独自の省エネ技術により、連続8000回測定を実現。筐体には抗菌剤を配合しているため、衛生面にも優れている。外来問診の他、病棟でのベッドサイド検温等の使用用途を想定。



CISE

パルスオキシメーター 「LUKLA2800」 「PumoRi7165」

「LUKLA2800」はハンドヘルド型パルスオキシメーター。被検者の指先にフィンガークリッププローブを取り付け、同装置が計測した生体情報を本体に表示する。測定時間は120時間で、在宅患者のバイタル管理や睡眠時無呼吸症候群の検査、リハビリなど、連続測定に適した装置である。

「PumoRi7165」は、本体がフィンガークリップタイプのオールインワン型パルスオキシメーター。本体上部のディスプレイに患者の生体情報が表示される。病棟での使用など、短時間のスポット測定向けの装置である。



PumoRi7165 / LUKLA2800